

1 利用者募集活動の現状報告について

自立支援局総合相談支援部総合相談課

鈴木理子 後藤幸雄 菅原美杉

川辺明子 松橋次郎 森 曜子

1. はじめに

自立支援局では、平成 23 年度から利用者募集活動の基本方針を定め、全センターが一丸となって取り組むこととなった。その背景としては、①充足率の低下、②各訓練や新規事業の周知、③関係機関との連携強化などがあげられる。

2. 取組み状況

基本方針に基づき、①郵送による募集活動、②訪問による募集活動、③事業公開の実施、④関係機関等が実施している会議への参加、⑤配布資料の精査の 5 本を定め取り組んでいる。

①郵送による募集活動では、パンフレット、リーフレット、募集要項等を、市区町村やハローワーク、障害者相談支援事業所等 5,000 カ所以上の機関に郵送した。

②訪問による募集活動では、東京、埼玉地域のハローワークや障害者相談支援事業所、就労支援施設、回復期病棟やロービジョンを有する病院に、職員が訪問し概要説明や利用者募集等を実施している。直接訪問することで、より細かな説明を行うことが可能となり、情報交換等を行い連携強化を築くきっかけにもなっている。また職リハとも合同で他県への募集活動を実施している。

③事業公開の実施については、従来も養成施設、特別支援学校向けの説明会を実施してきたが、自立支援局全体で取り組むことにより、各訓練の紹介、見学等を実施し、また対象とする機関を広げたことで、より多くの関係機関に参加して頂き、今後の連携に向けた意見交換ができた。

④関係機関等が実施している会議への参加では、職リハや所沢市が開催している会議や就職相談会、国際福祉機器展等に出向き、幅広い方を対象とした募集活動を実施した。

⑤配付資料の精査では、パンフレットの見直し、平成 23 年度には各事業を紹介したリーフレットを作成した。本館受付や学院研修会での、パンフレット等の設置を依頼している。

3. 今後に向けて

今後も中期目標を見据え、継続して募集活動を実施していきたい。募集活動が充足率の向上に直結したか、数値で確認することは難しいが、多くの皆さんに当センターの存在を知っていただき、利用につなげていければ望ましい。今後も有効な募集活動を展開していけるよう取り組んでいきたい。